

**2025年度 第5回 関東地区調整機構主催 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ
(薬学教育者ワークショップ)**

【日 時】 2025年7月20日(日)・21日(月・祝)両日ともに午前9時集合

【会 場】 帝京大学 板橋キャンパス(東京都板橋区加賀2-11-1)

ディレクター：本間 浩(薬学教育協議会)、

中村 智徳(薬学教育協議会 病院・薬局実務実習関東地区調整機構)、

樋 直子(帝京大学 薬学部)、柏倉 康治(帝京大学 薬学部)、

高橋 正夫(東京都薬剤師会)、高松 登(東京都薬剤師会)

コンサルタント：中島 宏昭(昭和大学客員教授)(DVD)

チーフタスクフォース：田極 淳一(東京都薬剤師会)

会場責任者：日下部 吉男(帝京大学)

事務局責任者：東京都薬剤師会

第1日：7月20日(日) (9:00 開始)

08:20-08:50	参加者受付(場所:4階エントランス)	
09:00-09:20	P 開会式(司会:織田・高野)	20分
09:20-09:45	P オリエンテーション(小佐野・田極)	25分
09:45-10:00	P コンセンサスゲーム説明(奥水・日下部)	15分
10:00-10:40	S SGD	40分
10:40-11:00	P 発表	20分
11:00-11:10	P 「薬学教育の問題点」KJ法解説(一場・小倉)	10分
11:10-12:10	S SGD	60分
12:10-12:25	P 発表(3分/グループ)と合同討議(5分)	15分
12:25-13:00	写真撮影:2F階段 昼食:S会場	35分
13:00-13:20	P 学習成果基盤型教育における学習目標とは(伊東・根岸)	20分
13:20-14:50	S 学習目標の作成	90分
14:50-15:15	P 発表(3分/グループ)と討議(3分/グループ)	25分
15:15-15:30	J 休憩	15分
15:30-16:00	P パフォーマンスを測る教育評価とは(織田・高橋)	30分
16:00-18:00	S 教育評価法の作成	120分
18:00-18:40	P 発表(5分/グループ)と討議(4分/グループ)	40分
18:40-18:55	P 評価まとめ(織田・高橋)	
18:55-19:00	P 第1日の評価(吉成・松林)	5分

第2日：7月21日(月・祝) (9:00 開始)

09:00-09:05	P 第1日の評価報告(吉成・松林)	5分
09:05-09:35	P 真に参加型と呼べる学習方略とは(平田・高野)	30分
09:35-11:05	S 学習方略の作成	90分
11:05-11:45	P 発表(6分/グループ)と討議(5分/グループ) 望ましい学習とは(平田・高野)	35分
11:45-11:55	S プロダクト修正	10分
11:55-12:25	P 臨床現場での学習に有効な手法(藤尾・田籠)	30分
12:25-13:10	J 昼食:S会場	45分
13:10-13:15	P 問題点への対応(藤尾・田籠)	5分
13:15-14:15	S 問題点への対応の作成	60分
14:15-14:45	P 発表(4分/グループ)と合同討議(15分)	30分
14:45-14:55	P 問題解決のプロセス(黒田・佐藤)	10分
14:55-15:10	J 休憩	15分
15:10-16:00	2P 講演「医療人教育の改革」(中島・DVD) 司会:(田極)	50分
16:00-16:10	2P 総合ポストアンケート、第2日の評価	10分
16:10-16:50	2P 講演「ワークショップの歩みと薬学教育改革」(小佐野)	40分
16:50-17:10	2P 講演「関東地区調整機構の役割とお願い」(小佐野)	20分
17:10-17:15	2P 事務局担当者の紹介と謝辞(田極)	10分
17:15-17:20	P 第2日の評価報告(吉成・松林)	5分
17:20-17:25	P 総合プレ・ポストアンケート(小佐野・田極)	5分
17:25-17:50	P 閉会式(司会:織田・高野)	25分

薬学教育者 ワークショップ資料

(認定指導薬剤師養成ワークショップ)

一般社団法人薬学教育協議会
病院・薬局実務実習関東地区調整機構

薬学教育者ワークショップ資料

資料番号		
0-1	ワークショップの趣旨.....	2
0-2	ワークショップのアウトカムと目標	3
0-3~4	ワークショップとは.....	4
0-5	印象記作成のお願い.....	6
0-6~8	ワークショップ報告書の作成について	7
1-1	グループ・ダイナミックス資料	11
1-2	グループ・ダイナミックス Group Dynamics (集団力学)	15
2-1	KJ法	17
3-1	学習のプロセス	19
3-2	カリキュラム	20
3-3	基本的教育用語	21
3-4~5	カリキュラムの要素.....	22
3-6	学修成果基盤型教育におけるカリキュラム立案の流れ	24
3-7	目標設定の意義	25
3-8	学習目標のもつべき性格 (RUMBA)	26
3-9	目標 資料.....	27
4-1	評価 資料.....	35
4-2	Value ループリック例示	47
5-1	方略 資料.....	49
5-2	望ましい学習者の持つべき特徴	60
6-1	手法 資料.....	62
7-1	二次元展開法	70
7-2	改善に対する障害と対応策	71
7-3	カリキュラム改革のための行動計画	72
7-4	組織内で問題を発見し解決するプロセス	73

薬学教育者ワークショップ資料

(認定指導薬剤師養成ワークショップ)

発行日 2024年4月1日

発行者 一般社団法人薬学教育協議会

病院・薬局実務実習関東地区調整機構

指導薬剤師養成小委員会

連絡先 ☎ 150-0002

東京都渋谷区渋谷 2-12-15

日本薬学会長井記念館 4F

E-mail kantouchiku_jimukyoku@ab.auone-net.jp

印刷所 興和印刷株式会社

-
- ・薬学実務実習に関するガイドライン
 - ・薬学実務実習の評価の観点について（例示）
 - ・＜別添＞概略評価表（例示）
-

一般社団法人薬学教育協議会
病院・薬局実務実習関東地区調整機構

薬学実務実習に関するガイドライン

平成 27 年 2 月 10 日

薬学実務実習に関する連絡会議